

II 各論

1 各論の内容

本章では、分類群の概説、掲載種リスト、種の解説、文献について分類群ごとに掲載した。概説では、各分類群の県内における現状や調査内容、掲載種の概要などについて記述し、種の解説では以下の項目について記述した。項目についての該当事項が無い場合は、その項目を削除した。なお、情報不足種（DD）は、上記項目の一部についてのみ記述した。

○種名等

和名、学名、目科名等を記載した。なお、分類に採用した文献については各分類群の概説に記した。

○カテゴリー

改訂版三重県レッドデータブックでのカテゴリー、及び改訂前の三重県レッドデータブック2015でのカテゴリーを併記した。また参考として、環境省第4次レッドリストのカテゴリーを記した。

○メッシュ分布図

標準地域メッシュ・システムによる2次メッシュ（国土地理院2万5千分の1地形図相当）で既知の分布を表示した。なお、一部の種については、過去に生息していたが、溜池などの生息適地の消滅などにより現状では明らかに生息・生育していない地点については「X」で表示した。また、保護上の配慮の必要がある種については非公表とした。なお、三重県レッドデータブック2015では日本測地系をもとにメッシュ分布図を表示していたが、三重県レッドデータブック2025では世界測地系を用いたことから、実際の分布とメッシュ表示が異なっている場合がある。

○選定理由

カテゴリー・チェックシートの内容を参考に、主な選定理由を簡潔に記載した。

○種の概要

形態や生態の概要を簡潔に記述した。

○分布

該当種の分布域について簡潔に記し、今回の調査により明らかとなった県内の分布については原則として市町名で、生息地の公表による悪影響が懸念される種については地域名で表した。行政および地域区分は図2-1に掲載した。

○現況・減少要因

現在の生育・生息状況と、減少の要因等について記述した。

○保護対策

現在行われている保護活動や、これから講じる必要のある具体的かつ現実的な対策案について記述した。

○特記事項

法令関係や上記の項目に該当しない事項について記述した。

○文献

文献名は分類群単位でまとめて掲載し、各種の本欄には文献番号を記した。なお、文献については、生息・生育情報の参考としているものもあるが、過去の生息・生育状況について全ての文献を挙げると膨大な文献の量になることから、種によっては一部のみを挙げている。

文 献

江崎保男・和田岳（編）. 2002. 近畿地区・鳥類レッドデータブック—絶滅危惧種判定システムの開発. 京都大学学術出版会, 京都, 225pp.

レッドデータブック近畿研究会（編著）. 2001. 改訂・近畿地方の保護上重要な植物—レッドデータブック—近畿2001. 財団法人平岡環境科学研究所, 川崎, 164 pp.

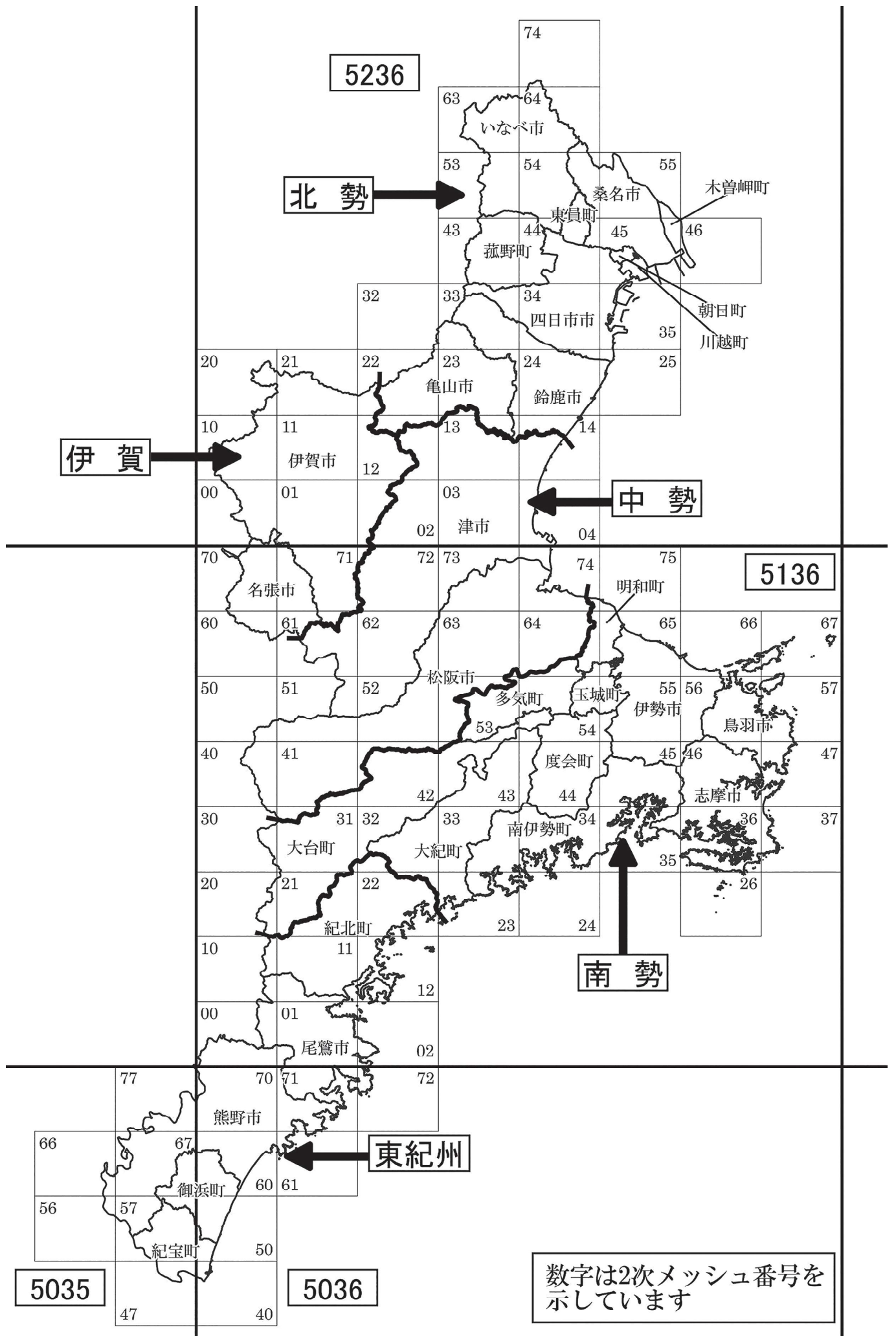


図 2-1. 三重県行政区分, 地域区分および2次メッシュ

